

# 原 価 計 算

<b>対象クラス</b>	2年 ビジネス管理科（事務管理類型）	<b>単位数</b>	3
<b>使用教科書</b>	原価計算 新訂版（実教出版）		
<b>使用副教材</b>	完全段階式 標準簿記問題集 1級 原価計算（東京法令） 全商簿記実務検定模擬試験問題集1級 原価計算（実教）		

## 「原価計算」はこんな科目です。

原価計算とは、製品を製造するために必要な費用を計算する手続きのことを言います。これは工業簿記とも言い、製造業における製品ができるまでの過程を簿記にしたものです。原価計算を学ぶことで、企業経営における会計の役割を、より広い角度から把握することができます。

## 科目の到達目標（目標とする検定等）

- ・製造業における原価計算および会計処理に関する知識と技術を習得し、原価の概念について理解します。
- ・原価計算から得られる情報を活用する能力と態度を身に付けます。
- ・全国商業高等学校協会主催の「全商簿記実務検定 1級原価計算」を取得することを目標とします。

評価の観点	評価規準・評価内容	評価方法等
<b>関心・意欲・態度</b>	・製造業における原価計算と工業簿記に関心を持ち、その知識と技能の習得に意欲的に取り組むことができるか。	授業中の出席状況や学習態度 問題集やノートなどの提出物
<b>思考・判断・表現</b>	・各種の原価計算の方法や記帳法、原価情報の活用について、自ら考え、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切な判断ができるか。	問題への取り組み状況 問題集やノートなどの提出物 確認テスト、定期考査
<b>技能</b>	・製造業における原価計算と工業簿記に関する基礎的・基本的な技術を身に付け、ビジネスの諸活動を計数的に把握し、その成果を適切に示すことができるか。	問題への取り組み状況 問題集やノートなどの提出物 課題テスト
<b>知識・理解</b>	・製造業における原価計算と工業簿記に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、原価計算の基本的な仕組みおよび工業簿記の基本構造が理解できるか。	定期考査 問題集やノートなどの提出物 演習問題への取り組み

## 学習計画（どのような内容を、どの時期に学ぶのか）

	単元名	学習内容	学習活動のねらい
<b>前 期 中 間</b>	第1章 原価計算の基礎	原価と原価計算 原価計算のあらまし 工業簿記	・原価計算の意味と工業簿記の基礎について学習し、理解します。
	第2章 原価の費目別計算 【前期中間考査】	材料の計算と記帳 労務費の計算と記帳 経費の計算と記帳	・原価の3要素である材料費、労務費、経費についての記帳と手続きについて理解します。算の計算方法や記帳法について理解します。
<b>前 期 期 末</b>	第3章 原価の部門別計算と製品別計算 【前期期末考査】	個別原価計算 部門別個別原価計算 総合原価計算 工程別総合原価計算 総合原価計算における減損・仕損じなどの処理	・個別原価計算の基礎を学習し、部門別計算を行う場合との違いを理解します。 ・総合原価計算の基礎を学習し、工程別計算を行う場合との違いを理解します。 ・原価計算の違いは、個別受注生産と連続的大量生産との違いであることを理解します。
	<b>後 期 中 間</b>	第4章 製品の完成・販売と決算	製品の完成と販売 決算と本社・工場間の取引
第5章 標準原価計算の基礎 【後期中間考査】		標準原価計算(その1) 標準原価計算(その2)	・原価管理に役立つ資料を提供する標準原価計算の意味と手続きについて理解します。
<b>後 期 期 末</b>	第6章 直接原価計算の基礎 【全商簿記検定試験】 【学年末考査】	直接原価計算(その1) 直接原価計算(その2) 検定対策問題・模擬問題	・利益計画に役立つ資料を提供する直接原価計算について理解します。 ・全商簿記検定に向けて問題の傾向と対策を立て、問題演習に取り組みます。 ・来年度に向けての課題を見つけます。